

通常総会議案

第1号議案

令和6年度事業報告書

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

I 会員の状況

(1) 会員の増減

(令和7年3月31日現在)

	R6.4.1 現在会員	令和6年度		令和6年度区分変更者		R7.3.31 現在会員	前年差
		入会者数	退会者数	増	減		
開業	357	8	8	11	7	361	+9
勤務等	191	15	11	7	11	191	-4
計	548	23	19	18	18	552	+5

(2) 支部別会員数

(令和7年3月31日現在)

支部	岡山	倉敷	津山	計
開業	230 (77)	108 (36)	23 (8)	361 (121)
勤務等	122 (54)	58 (31)	11 (3)	191 (88)
計	352 (131)	166 (67)	34 (11)	552 (209)
%	63.8	30.1	6.1	100.0

() 内は、女性を再掲

(3) 開業年数別会員数

(令和7年3月31日現在)

年数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	計
人数	7 (1.9)	23 (6.4)	27 (7.5)	65 (18.0)	239 (66.2)	361 (100.0)

() 内は、開業数に対する%

Ⅱ 令和6年度重点事業の実施状況

【連合会の方針に基づく事業】

1. 事業環境の急激な変化と新たな局面に対応した社労士業務の推進

(1) デジタル化推進

社労士事務所におけるセキュリティインシデントへの的確・迅速な対応とセキュリティ意識の向上を図るための研修や電子申請研修を開催した。

2. 事業環境の変化に適合できる専門能力の向上

(1) 社労士の品位保持

会員の受講機会の確保及び受講管理の効率化の観点から、前年度に引き続き、令和6年度も、連合会eラーニングによる倫理研修が実施された。(令和7年2月～3月)

(2) 研修

(ア)新規入会会員研修

・令和6年度新規入会会員研修

日時：令和7年1月18日(土) 10:00～16:30 サン・ピーチOKAYAMA

講師：会長、各部長、ADRセンター、SR経営労務センター、社労士成年後見センター岡山、東京海上日動火災保険(株) 広域法人部 など

・新規入会会員研修（入会3年以内の会員対象）

3研修：「社会保険実務」「労働保険実務」「事務所開設と運営」

(イ)社会の変化に対応したテーマによる研修の実施

「社会変化や新たな権利意識に伴う企業対応と労働紛争の法的実務」、「社会保険・給与計算業務の重要ポイントの確認」などの専門実務研修のほか、労災実務をテーマに安全管理研修、成年後見研修などを実施した。

(3) 地域協議会・連合会主催研修

地域協議会が実施した『「ビジネスと人権」と社労士の役割研修（上級編）～JTFガイドライン対応～』に5名が参加した。

3. 社労士の専門能力を生かした社労士の社会的使命の実現と社会貢献

(1) 「社労士会労働紛争解決センター岡山」の運営

(ア)ADR研修

あっせん委員、運営委員、総合労働相談所相談員を対象に3回実施

第1回「ロールプレイング」（令和6年11月2日）岡山県生涯学習センター

第2回「就業規則の不利益変更」変更できる合理的理由と具体例（令和7年1月11日）

岡山県生涯学習センター ※総合労働相談員等研修と共催

講師：弁護士 南 和成 先生

第3回「ロールプレイング等」（令和7年3月8日）岡山県生涯学習センター

※令和7年度総合労働相談員必須研修と共催

(イ)あっせん件数

区 分	受理件数	受理事件の取扱内容			
		和解成立	和解不調	申立取下	不応諾
令和6年度	5	1	2	－	2
開設以来累計	63	32	9	1	21

(2) 学校向け出前授業の実施

中学校27回 高等学校3回 その他2回 計32回（内有料22回）

主な講座：「職場体験学習の前に知っておきたいこと」「働くときの基礎知識」

「働くことについて考えてみよう」「職場のマナー」

(3) 労働条件審査の実施

入札に係る応札事業者の労働条件審査依頼があり審査を実施した。

倉敷市役所：「都市防災公園及び付帯施設」、「市営バス駐車場」など7施設の指定管理者選定に伴うのべ11事業者の審査

(4) 治療と職業生活の両立支援

がんなどの病気と闘いながら職業生活を送る方々の支援を行うため、病院との連携による無料相談会を実施するとともに、オープン研修会を2回開催した。
岡山大学病院及び岡山医療センターでの出張相談等：41件

4. 広報

- (1) 社労士月間 中小企業支援セミナー・個別相談会
テーマ：「従業員の定着と上司の質問力」
日時・場所：令和6年10月22日(火) 13:30～15:30 岡山国際交流センター 講師：穂田恒雄会員
共催：一般社団法人岡山県商工会議所連合会
後援：県内報道各社
- (2) 社労士月間無料相談会（令和6年10月12日、11月2日）計34件
岡山支部 天満屋ハピータウン原尾島店・シネマタウン岡南（計29件）
倉敷支部 倉敷商工会議所、S-スタ（計5件）

【岡山県社会保険労務士会としての事業】

1. 電子化推進

SRPⅡの取得を促進し、セキュリティ意識の向上を図った。

2. 会議・事業・事務局業務の効率化

メールフォームを活用した研修等への参加申込、web会議ツールを活用した会議や研修の開催など、会議・事業・事務局業務の効率化を推進した。

3. 行政機関及び他士業等との情報交流および連携強化

- (1) 県内自治体からの要請による相談対応
 - ①岡山市からの要請により、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対応として、企業社会保険・労務管理相談に関する窓口相談、事業所訪問相談などへ相談員をのべ34人派遣した。
 - ②岡山市からの要請により、地域型保育事業等労務に関する指導監査支援として、28施設分の審査を実施した。
 - ③岡山県からの要請により、事業所が高年齢者の就業確保措置を推進するための相談や説明会を実施。
- (2) 他士業等との連携強化
 - ①士業連携フォーラム
日時・会場：令和6年9月12日(木) 18:00～20:30 ピュアリティまきび
士業紹介：司法書士会、弁理士会
 - ②10士業合同無料相談会
日時・会場：令和7年1月20日(月) 倉敷・津山市役所、1月21日(火) 岡山市役所
各会場とも 9:30～16:00 相談計7件
 - ③弁護士会との合同勉強会
日時・会場：令和7年2月10日(月) 15:00～17:00 岡山弁護士会館
テーマ：「ハラスメントの事実認定」
講師：大阪弁護士会 弁護士 板崎 遼 先生
 - ④一般社団法人岡山県損害保険代理業協会との連携セミナー
日時・会場：令和7年1月31日(金) 15:00～17:00 ピュアリティまきび
内容：「労災・雇用トラブルと会社・役員リスク」（岡山県代協顧問弁護士）
「知って得する社労士との付き合い方」（中西 由美香 会員）

4. 中国・四国地域協議会との連携強化

- (1) 令和6年度中国・四国地域協議会社会保険労務士フォーラム
開催当番県として企画・運営を行った。
日程：令和6年10月4日(金)、会場：ANAクラウンプラザホテル岡山。参加144名。
概要：講演「これからの働き方、組織の在り方を考える」 講師 村木厚子氏（元厚生労働省事務次官）
その他企画として、翌10月5日(土)に実施
 - ①エクスカッション「倉敷児島・美観地区の旅」参加15名
 - ②親睦ゴルフコンペ（岡山カントリークラブ桃の郷コース）参加39名

Ⅲ. 各部事業実施報告

執行機関	重 点 事 業	実 施 結 果
総務部	1. 県会事業運営	理事会・総会運営 新型コロナ感染対策のため理事会を公共施設で開催していたが、5月の理事会より県会会議室へ戻しての開催とした。 総会において、㈱Cキューブコンサルティング 代表取締役 西原 立 氏を講師に「サステナビリティと企業経営の現在」というテーマで基調講演を開催した。総会には44名が出席した。 中国四国地域協議会協力 10月4日(金)、ANAクラウンプラザホテル岡山において、中国四国地域協議会フォーラムを開催した。元厚生労働省事務次官 村木厚子氏による「これからの働き方、組織の在り方を考える」をテーマとした講演と懇親会、翌日はゴルフ及びエキスカージョンを企画した。講演参加人数は、岡山県会会員57名、他県会会員86名。
	2. 規程の見直し	公募にかかる規定（基準、要件）の草案作成のため、他県会の情報収集を行なった。
	3. 財務	中間決算において予算執行状況などを確認した。 会費滞納者2名の法的措置を開始し、出廷した。1名については和解成立、もう1名については判決による終結となった。
	4. 会報	引き続き、研修など事業の案内や報告に重点を置き掲載した。
	5. 会員交流	4月13日(土)に中国四国地域協議会のソフトボール大会が山口県岩国市で開催され、貸切バスを利用し、14名が参加した。 3月29日(土)に花見を開催し、35名が参加した。
研修部	1. 一般会員研修の充実	昨年に引き続き、集合研修を中心としながら、必要に応じてオンライン研修を活用する形で実施した。 今年度は、岡山県会としては初めて中四協の他県会もオンラインで参加が可能な形での研修を実施し、他県会からの参加費の徴収にペイジー決済を活用した。 「社会変化や新たな権利意識に伴う企業対応と労働紛争の法的実務」(専門実務研修・ハイブリッド研修) (7/13) 近年の社会情勢の変化・法改正・働く者の権利意識の高揚に対応するため、それらを踏まえた、最近の労働判例・行政の動きや、最新の個別労使紛争の裁判例の研修を実施した。 「社会保険・給与計算業務の重要ポイントの確認」(専門実務研修・集合研修) (10/19) 日常業務の中で発生頻度の高いミスや誤りやすい事例について、リカバリー策や防止・改善策を社内様式やチェックリストの活用を含めた、社会保険・給与計算業務の重要ポイントについての研修を実施した。 「社労士が知っておきたい労災実務のポイント」(安全管理研修・集合研修) (11/15) 元厚生労働事務官の社労士と労働専門の弁護士のコラボ企画により、労災実務のポイントについての研修を実施した。 「IT-BCP研修」(連合会指示研修・集合研修) (11/23) ITシステムにトラブルがあった際に、被害を最小限に抑え早期復旧し、如何に業務を継続していくかを、座学とグループワークにより学ぶ研修を実施した。 「基礎から始めるe-Gov電子申請研修」(電子化推進研修・集合研修) (2/8) 電子申請をまだ行っていない方を対象として、電子申請の基本となる、e-Govを使った電子申請の方法をいちから学べる研修を実施した。 「年度更新行政協力者向け研修」(行政協力者向け研修・集合研修) (5/22・3/19) 倉敷支部が実施していた年度更新の行政協力者向けの研修を、本年度より研修部が引き継ぎ実施した。
	2. 新規入会会員研修	「労働保険実務研修」(集合研修) (4/13) 労働関係・労働保険に関する実務の基礎について学んだ。 「社会保険実務研修」(集合研修) (5/18) 社会保険に関する実務の基礎と届出関係について学んだ。 「事務所運営」(集合研修) (7/20) 先輩社労士より事務所の運営について事例を交えて学んだ。 「新規会員研修」(集合研修) (1/18) 各部やPT等による県会組織に関連した研修を開催した。また、互例会については立食形式とし、会員間の交流が積極的に行える企画等も実施した。
	3. 自主研究会の活性化	自主研究会への助成金を2研究会に各3万円支給した。
	4. 必須研修	本年度も連合会主催により、倫理研修を2月1日～3月31日の間にWEB研修の形で実施した。

執行機関	重 点 事 業	実 施 結 果
事業部	1. 行政協力業務の推進	年金事務所における年金相談窓口の委託契約に基づき、年金事務所と意志疎通を図りながら業務を実施した。 年金事務所の相談窓口担当者に対しては、年間3回の継続研修を実施し、社労士会連合会の研修資料等も利用して、より実践的な研修を行い、相談窓口担当者の更なる能力の向上を図っていった。 また、年金事務センター・各年金事務所の組織変更に対応できるよう年金相談窓口に入ってもらった新人社労士の養成を3月及び11月から座学及びOJT研修にて計画実施し、新たに5名が年金事務所での窓口対応を行った。 例年どおり、出張相談についても、各年金事務所との連携をとりながら実施した。
	2. 年金・労働相談所業務の運営	令和6年度の相談員体制は、年金相談員14名、労働相談員22名である。 年金相談は、県会年金相談所にて月1回（第3水曜日）、岡山・倉敷両市役所にて月1回（第4水・木曜日）開催した。また相談員の研修については、実践研修を中心に、事例研究、マナースタンダード、法律改正などの必須研修を実施した。 労働相談は、県会にて毎週金曜日に開催し、岡山・倉敷両市役所にて月1回（第4水・木曜日）、ゆうあいセンター岡山で月1回（第3日曜日）開催した。また、岡山商工会議所においても月1回（第3木曜日）に予約があった時のみ企業向けの労務相談を実施した。 ADRセンター岡山と連携しながら、実践的な研修を行った。 県会HP掲載といった各種広報活動を通して利用を呼びかけた。 今年度より県会での年金・労働相談は、事前予約の有無に関わらず実施し、事前予約がない相談者に対しても相談を行った。
	3. 学校出前授業の実施	今年度は講師13人体制で出前講座チームを組織した。 実施件数は前年度並み。倉敷市労働雇用政策課のキャリア教育推進事業として、過去最高の倉敷市内中学高校10校にて出前授業を行った。 チャットワークを使った担当決めや情報共有で効率的な運営が実施できている。講師各人の適性を活かしながら、魅力ある授業が行えるように、講師間の情報交換、授業内容の検討を行いながら、更なるレベルアップを図った。
	4. 治療と仕事の両立支援	出張相談では、岡山大学病院と岡山医療センターで、毎月2回出張相談を定期的に行った。また県会でも毎月1回の相談会を実施した。 岡山労働局主導となって組織されている「岡山県地域両立支援推進チーム」のメンバーとして、県下の13のがん診療連携拠点病院を中心に、推進チームの他の構成員団体にも訪問を行い、広報活動を実施した。 今年度も、岡山県保健医療部疾病感染症対策課からの依頼により、事業主団体に対して「治療と仕事の両立支援」についてのセミナーを実施したが、コロナ以前の講師実績にはなっていない。 また、これまで「両立支援」の活動を行ってきたが、6年度は「両立支援」という内容が企業等で理解が進んできたことを実感することができた。 相談員の研修は例年通り2回実施できた。
	5. 労働条件審査・地域型保育事業指導監査・企業主導型保育施設への労務監査	倉敷市指定管理者に対する労働条件審査は、今年度は11社に対し行った。 労働条件審査担当者研修を行い8名の方が新たに担当者として事業を行うこととなった。 令和6年度より岡山市地域型保育事業指導監査業務が始まり、28施設に対して行った。 地域型保育事業指導監査担当者研修を行い、担当者として16名が事業を行った。なお今年度は、事業部員8名も担当者として事業を行った。 企業主導型保育施設への労務監査は、連合会の方針により、これまで実施していない県での実施が優先されたため、今年度も休止となった。

執行機関	重 点 事 業	実 施 結 果
広 報 部	1. 継続した広報活動の推進	1. 社会保険労務士の業務を広く県民に周知するため、社会保険労務士会の取り組みを紹介する各種ポスター、チラシ等を活用して、多方面への広報活動を継続して行った。 2. 会員の協賛を得て山陽新聞への広告掲載、商工会議所へのチラシ配布等、社会保険労務士の活用促進及び社会保険労務士会の活動やイベント案内を行い、社会保険労務士の社会的地位向上を図った。 3. 有効な各種媒体の活用や各種業界団体での講演活動を通じて、社会保険労務士制度、社会保険労務士の業務やイベントPRを行い、社会保険労務士の認知度アップを図った。
	2. 社労士業務PR事業の実施	1. 岡山県商工会議所連合会との共催により、10月22日に中小企業支援セミナーを開催し、多くの企業経営者・人事担当者に社会保険労務士業務のPRが行えた。 2. 無料年金相談会・労務相談会を岡山・倉敷で開催し、社会貢献を通じて社会保険労務士の知名度アップのPRを行った。
	3. 他士業等との連携強化	1. 令和6年度は社会保険労務士会が当番会として、9月12日に士業連携フォーラム、9月28日にゴルフコンペを企画・開催した。多くの参加者があり、士業間の連携が図れた。 2. 10士業合同無料相談会を1月20日に岡山市役所で、1月21日に倉敷市役所・津山市役所で開催した。 3. 弁護士会との合同勉強会を2月10日に開催し、連携強化を図ることができた。 4. 一般社団法人岡山県損害保険代理業協会と連携3周年を記念したセミナーを1月31日に開催し、社労士業務のPRと適正な労務管理の推進を図るための連携強化ができた。
	4. 県会ホームページの運用管理	県会ホームページの効果的な活用の推進を図るため、レイアウトの変更や協力事業の追加等を行った。
統 括 部	1. 各プロジェクトチームの統括	岡山県より高齢者雇用確保事業を受託し、相談員で対応を行った。
	2. 各種入札事業への参加	令和6年度は社会保険労務士会が行うべき案件がなかったため活動はしていないが、次年度に向けて準備を行った。